

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公開番号】特開2016-150165(P2016-150165A)

【公開日】平成28年8月22日(2016.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-050

【出願番号】特願2015-29939(P2015-29939)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月13日(2018.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

立体ギャザー60を形成するギャザーシート62は図示形態のように折り畳むことにより複数層構造とする他、複数枚の素材を貼り合わせて複数層構造とすることもできる。ギャザーシート62のシート状素材としてはスパンボンド不織布(S S 、 S S S 等)や S M S 不織布(S M S 、 S S M M S 等)、メルトブロー不織布等の柔軟で均一性・隠蔽性に優れた不織布に、必要に応じてシリコーンなどにより撥水処理を施したものを使適に用いることができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

・「目付け」は次のようにして測定されるものである。試料又は試験片を予備乾燥した後、標準状態(試験場所は、温度 20 ± 5 、相対湿度65%以下)の試験室又は装置内に放置し、恒量になった状態にする。予備乾燥は、試料又は試験片を相対湿度10~25%、温度50°を超えない環境で恒量にすることをいう。なお、公定水分率が0.0%の繊維については、予備乾燥を行わなくてもよい。恒量になった状態の試験片から米坪板(200mm × 250mm、±2mm)を使用し、200mm × 250mm(±2mm)の寸法の試料を切り取る。試料の重量を測定し、20倍して1平米あたりの重さを算出し、目付けとする。

・「厚み」は、自動厚み測定器(K E S - G 5 ハンディ圧縮計測プログラム)を用い、荷重：0.098N/cm²、及び加圧面積：2cm²の条件下で自動測定する。

・「伸長率」は、自然長を100%としたときの値を意味する。